

2024_0412「ムササビの母親の帰巢（動画）」日々の理科 3536号

お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーション研究所 田中 千尋

今回のムササビの子どもは2匹です。子が小さいうちは、母親は1日20時間ぐらい、子と一緒に巣箱内で過ごします。フクロウの場合は、子育て中のメスにオスが餌を運んでくることも多いです。しかし、ムササビの場合は巣箱までオスが餌を運んでくることはありません。また、フクロウの場合、親の食べ物も子の食べ物も「肉食」ですが、ムササビは哺乳類なので、子は母乳で育ちます。

ここまでの観察で、母親が夜間に「外出」する時間帯がほぼ明らかになりました。今のところ一晩に2回で、19時～21時頃、0時～2時頃です。この間に母親は森の中で食事（たとえば松ぼっくり）をするのでしょうか。2匹に毎日母乳を与え続けているのですから、大変でしょうね。

今回は新しく購入した、高性能のネットワークカメラで撮影してみました。夜間でも画質が格段に良く、ムササビの動きや表情までよくとらえていました。子が育ってくると、子も巣箱口から顔を出すようになるので、それも楽しみです。

(2024年4月中旬／北軽井沢／遠隔観測)

